

令和6年10月より【フラット35】の 審査に『AI審査モデル』を導入！

機構は、お客さまの負担軽減や利便性向上を目的に【フラット35】や災害復興住宅融資等の機構融資のデジタル化について全社横断的に取り組んでいます。

この取組の一環として、令和6年10月に【フラット35】で活用する『AI審査モデル』を導入します。

これにより【フラット35】の投資目的利用や住宅購入価格水増し等の不適正な申込みを検知し、審査に活用することで不適正利用防止の審査体制をさらに強化します。

AI審査モデルの特徴

✓ 外部情報をリアルタイムで連携し審査に活用！

⇒ 借入申込情報に加え、個人信用情報やインターネット上の情報をAPI連携により取得し、審査に活用。

✓ より精度高く不適正な申込みを検知！

⇒ 最新の不適正利用事案の情報を基に学習したAI審査モデルにより、精度高く不適正利用の懸念がある申込みを検知。検知した事案は職員が慎重に審査。

AI審査のイメージ

